

2020年度第1回教育課程編成委員会 議事録

日時 2020年7月8日(水) 14:00~16:00

場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

出席委員 公益社団法人大阪府看護協会 会長 高橋弘枝(欠席)
一般社団法人日本看護学校協議会 会長 池西静江
社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 院長 松森良信(欠席)
社会医療法人愛仁会 井上病院 看護部長 西原伸美
愛仁会看護助産専門学校 学校長 清水富男
愛仁会看護助産専門学校 副学校長 台野悦子
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 真島久美子
愛仁会看護助産専門学校 看護学科 教育主事 増本綾子
愛仁会看護助産専門学校 助産学科 教育主事 大石有香
愛仁会看護助産専門学校 事務部長 松田孝緒 (司会)
愛仁会看護助産専門学校 事務 川口璃子 (書記)

議事次第

1. 学校長挨拶

学校長から開会の挨拶がなされた。

2. 教育課程編成委員会の設置趣旨説明

教育課程編成委員会の設置趣旨について説明がなされた。

3. 教育課程編成委員会規程について

教育課程編成委員会規程について確認を行った。

4. 2019年度第1回、第2回委員会の概要説明

議事録にて2019年度第1回目の委員会の概要確認を行った。2019年度は3月17日に第2回委員会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった旨報告があった。

5. 2020年度第1回テーマ「カリキュラム改正に向けて～前年度教育評価及び新カリキュラムの考え方について～」真島教育主事・増本教育主事から資料について説明がなされた。

I. 評価内容について

①教育目標における科目の到達度について

②2019年度卒業生の卒業時アンケートについて

③2019年度授業評価について

④卒業生の看護師教育の技術項目と卒業時の到達度～卒業時と入職1年の比較～について

⑤期待される卒業生像の到達度自己評価および看護部からの評価について

II. カリキュラム改正について

教育理念である「自主性と和の精神でもって、人々の健康で豊かな生活に貢献できる看護師・助産師を育成する」を具現化できるカリキュラム編成を目指す。

Ⅲ. 地域に愛される魅力ある学校づくりについて

創立 40 周年となり、看護・助産学科両方合わせて約 2000 名の卒業生を輩出している。今後、さらに魅力と活力ある学校づくりに取り組む。

6. 意見交換は以下の通りである。

I. 評価内容について

- ・卒業時の技術到達度の評価については、科目「看護の統合と実践」にて、実習での 16 項目の構成要素に基づく技術到達度チェックから、技術項目毎に到達したか、していないか（二者択一・自己評価）でとっており、学生の何%が到達したかを示している。
- ・期待される卒業生像については、4 者択一の自己評価という形で行っており、的確な状況判断や問題解決能力は自信がなく卒業している。

II. カリキュラム改正について

- ・新カリキュラムでは 102 単位となるが、単純に科目を増やすのでは意味がなく、すべての科目が看護に向き、分野毎にふさわしい科目を選ぶことができればよい。

最近の傾向として、答えを求める学生が多いので、考えさせる等の学ばせる工夫が必要であり、病態や解剖生理の理解については、事例を用いるなど、対象理解から遡るなど検討が必要である。

- ・地域・在宅看護論については、もっと地域に踏み込み、地域で生活している人がわかる地域活動ができれば良い。
- ・実習展開では学生 80 人全員が同じ経験することは難しいので、いかに共有するかが大切である。地域のフィールド・つながりをもっておくことが大切であり、1 年次で地域を理解し、繋がりをもって病院から地域に戻る方を追うためには、今後リモート等でもできるのではないかと。

Ⅲ. 地域に愛される魅力ある学校づくりについて

- ・高槻市は比較的に子どもが多い。地域との関わりについては、例えば京都の某専門学校では学区別でフィールドを決めて毎朝学生が掃除活動している。また、地域見守り隊に参加したり、学区の方に集まってもらい、介護予防事業等を行っている。まず、教員が地域を知らなければならない。

次回会議予定

日時 2020 年 12 月 9 日（水）14 時
場所 愛仁会看護助産専門学校 会議室

以上